

いろいろな種類の

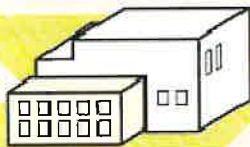
① リサイクル施設

ごみを種類ごとに分けたり、処理・加工して、再び資源（原材料など）に生まれ変わらせるごみ処理施設

- 建設現場で出る柱やコンクリートのがれきを、燃料や建築資材にリサイクル



柱などの木くず



リサイクル施設

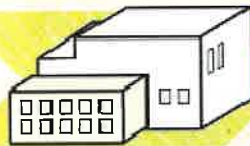


木質チップ

木質燃料
肥料



がれき類



リサイクル施設



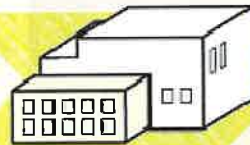
再生碎石

道路（路盤材）
コンクリート製品

- 使い終わったペットボトルを、プラスチック原料にリサイクル



廃ペットボトル



リサイクル施設



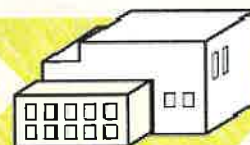
フレーク(粒)

ペットボトル
衣服（繊維）

- 生ごみや下水汚泥を、肥料（たい肥）にリサイクル



生ごみ



リサイクル施設



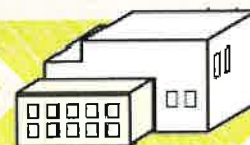
肥料(たい肥)

農地に使用

- 廃家電を、金属製品やプラスチック製品の原料にリサイクル



廃家電



リサイクル施設



アルミや銅
プラスチック

金属製品
プラスチック製品

施設があります

② 焼却施設

リサイクルできないごみを、焼却処理するごみ処理施設
焼却の際に発生する熱エネルギーを回収して発電や熱利用などのサーマルリサイクルを行う施設もあります。



③ 最終処分場

リサイクル（サーマルリサイクルも含む）できないごみを、最終的に埋め立てるごみ処理施設



最後は安全に
埋め立てるまる★★



※「ごみイラスト素材集」(経済産業省) (<https://www.meti.go.jp/policy/recycle/main/data/illust/index.html>) を加工して作成

【コラム】産業廃棄物ってどんなごみ？

産業廃棄物には、私たちが日頃使うものを製造する工場から出る廃油やプラスチックごみ、道路工事や建物解体工事から出るがれき類などがあります。

このように、産業廃棄物は、私たちにとっても関わりが深いごみです。

